

子連れチャレンジのきろく

～都会の商業施設へのアクセシビリティを考える～



○大阪大学中之島芸術センター

○大阪大学大学院人文学研究科 ○大阪大学総合学術博物館

「中之島に颯を放つⅡ —

大学博物館と共創するアート人材育成プログラム」

〈臨床のアート〉アクセシビリティ・リサーチ・ジャム



子連れチャレンジってなあに？



普段は子どもと利用しない商業施設のテナントも、案外一緒に行ってみたら楽しいかも？

そんな一人のパパのアイデアから生まれた企画です。

子連れの人も、そうでない人も利用しやすいテナントってどんなのだろう？
実際に子連れでテナントを利用してみた様子（プレ体験）を展示し、子連れで参加できるイベントを都会の商業施設で実施しました。

今回の企画を通して、子連れの人はもちろん、そうでない人も色々な人どうしが関わり「子連れのアクセシビリティ」について考えることができました。
自分にとってチャレンジだと思っていたことが、他の人にとってはそうでもなかったり。それぞれに何か新しい発見があったのではないのでしょうか。



写真：安國真理子



アクセシビリティってなあに？

情報やサービスなどが誰にとっても不自由なく利用できるかの度合いを示す概念です。「近づきやすさ」「利用のしやすさ」「便利であること」などを意味し、これが高ければより多様な人々がアクセスしやすいということになります。

どんないきさつで実施したの？

大阪大学中之島芸術センター、大阪大学大学院人文学研究科、大阪大学総合学術博物館が共同し推進するアート人材育成プログラム「中之島に聴を放つⅡ」の一環として開催された「アクセシビリティ・リサーチ・ラボ展」の企画の一つ「子連れでNU茶屋町に行ってみよう！」の取り組みとして実施しました。

アクセシビリティ・リサーチ・ラボ展

@NU茶屋町 3F 特設スペース & 4F STAND PARK

2023年11月25日 (sat) ~ 12月3日 (sun)

11:00 ~ 21:00

入場
無料

概要 | アクセシビリティをテーマとした展覧会。「中之島に聴を放つⅡ」の受講生が中心となって、トーク、インスタレーション、ワークショップ、パネル展示、映像など様々な角度から企画制作を行いました。

主催 | 大阪大学中之島芸術センター・大阪大学大学院人文学研究科・
大阪大学総合学術博物館 阪急阪神不動産株式会社

連携 | あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール / 浄るリシアター
公益財団法人吹田市文化振興事業団(メイシアター) / 豊中市都市活力部魅力文化創造課
兵庫県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター) / 公益財団法人箕面市メイプル文化財団

協力 | 澤田株式会社 Yogibo
令和5年度 文化庁「大学における文化芸術推進事業」

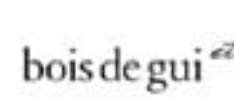
【運営体制】

企画制作(全体) | 中之島に聴を放つⅡ受講生(アクセシビリティ・リサーチ・ジャム)
山崎達哉、鄭実香(大阪大学中之島芸術センター)

プログラムアドバイザー | 檜皮一彦

企画立案 | 曾我航(子連れでNU茶屋町に行ってみよう！)

制作メンバー | 近江由紀子、小野毅、曾我航、辻麻依加、八木梓
(子連れでNU茶屋町に行ってみよう！)



子連れチャレンジ

親子で美容室に行ってみた！

NU茶屋町の2Fにあるヘアサロン uno pulir さんの店舗にて親子でヘアカットにチャレンジしました。
NU茶屋町に訪れるのが5年ぶりだというお母さん。6ヶ月の息子さんを連れて、都市部のヘアサロンに来ることは、ご本人にとってもはじめての経験です。

さらに、息子くんは生まれて初めてのカット。楽しみな気持ちと、不安な思いが入り混じりながら、施術がスタート！

今回、母と子を二人同時にカットすることを試みました。サロンのお椅子には、お母さんと、息子さんお一人ずつ。二人の美容師さんに、それぞれ施術いただきました。



赤ちゃんをご担当された美容師さんより

「0歳さんのカットははじめて、動くのが大変でした。でもかわいかったです！」
普段は2、3歳以上のお子さんが来られるそう。0歳の息子くん、ママと離れて泣いたり目をこすったり、身体をよじったり、予測不可能な動きをしてくれます。ですが、美容師さんも諦めない。「切れる時に切る！」スタイルで、施術の途中におやすみを挟みながら、全頭のヘアカットをしてくださいました。息子くん、生まれてはじめてのファーストカット完了！



ママのカットご担当の美容師さんより

「お子さんを心配されると思うので、気遣いながら、させていただきました。」
ママも息子くんも、「お互いに姿が見えないと不安になるかもしれない」と、シャンプーなし、カット＆ブローで、ママの施術時間の短縮を図ってくださいました。最後にアイロンをとおしてサラサラ髪にお仕上げ、久しぶりに美容室の訪れることができたママ、スッキリした気持ちとともに、笑顔が見られました。



親子カットを体験して—ママさんとの対話

「親子でカットを体験していかがでしたか？」
—スタイリストや周りの方が息子を見てくださり、とても助かりました。私も久しぶりにカットできました。

「今後、親子で一緒にお出かけするのはどうですか？」
—そうですね、お店側がよければ・・・3、4人、大人の手があると助かります。でも、いつもってわけにはいかないの・・・

「育児全般の人手が要りますよね！」

「お子さんが生まれて美容室に行くタイミングはありましたか？」
—子供が生まれてからは、行けても年2回くらいですね。カラーも時間がかかるから、できていないです。

「先ほど、「お店が許してくだされば」とおっしゃっていましたが、赤ちゃんが泣いてしまうことなどで遠慮してしまいますか？」
—そうですね・・・

場所の雰囲気ですが、そもそもお出かけするのに、天気にも左右されます。雨だとかちょっと断念しそうになります・・・実は、阪急梅田の改札からNUまでエレベーターを、とても探したんです。NUに着くまでも、少し大変でした。

「お出掛けの用意は、前日から？」

—天気予報をチェックすることもですが、荷物は前日から準備していますね。二人分なので。あと、事前にエレベーターの場所を知っておくため、駅や施設の地図を見たりもします。エレベーターがないとわかったら、ベビーカーはやめて、抱っこ紐でお出かけにします。

子連れプレチャレンジを経て

子連れでNU茶屋町に訪れ、美容室にてヘアカットをした今回のチャレンジ。
ご参加くださった親子さん、ヘアカットしてくださった美容師の方々、周囲のお客さま、同行した企画メンバー、場に居合わせた方それぞれ、何か、感じるものがあったのではないかと思います。

美容室という場所への〈アクセス〉。

ヘアカットというサービスへの〈アクセス〉。

子どもがいるという状況によって生まれる新たな〈アクセス〉。

この展示に〈アクセス〉したあなたなら、どのように捉え、どのように行動しますか。

「子連れの人も、そうでない人も、子連れのアクセシビリティを考える」

最後になりましたが、子連れチャレンジにご協力いただきましたuno pulirさん、ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。



子連れで NU 茶屋町に行ってみた！

イベント概要・スケジュール

すべて参加無料

11月26日[日] @3F 特設スペース

子どもヘアサロン

13:00~15:00_ヘアアレンジ

14:00~16:00_ヘアカット

お子様向けの出張サロンで、簡単なヘアアレンジやヘアカットができます。

子連れフラワーアレンジメント体験会

15:00~16:00

6組限定でフラワーアレンジメント体験ができます。

〈特別企画〉だれでも☆ディスコ

14:00~16:00

ゲスト：今治から来た DJ（大阪大学客員准教授）

NU 茶屋町の一角に、誰でも昼間から踊れるディスコが出現？もちろん子連れの方も大歓迎です。

子ども向けの音楽をはじめ、色々な方楽しんでいただけるナンバーをご用意しています。

普段ディスコにあまり行かない方も、是非この機会にお越しください。

12月2日[土] @3F 特設スペース

子連れヨガ体験会

12:00~12:50

5組限定でお子様と一緒にヨガ体験ができます。

ヨガ初心者の方もお気軽にお越しください。



[SNS]

● X

@accesslabo2023

アクセシビリティ・リサーチ・ラボ

● Instagram

@accessibility.research.labo

アクセシビリティ・リサーチ・ラボ

● Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=61552698425926&mibextid=LQQJ4d>



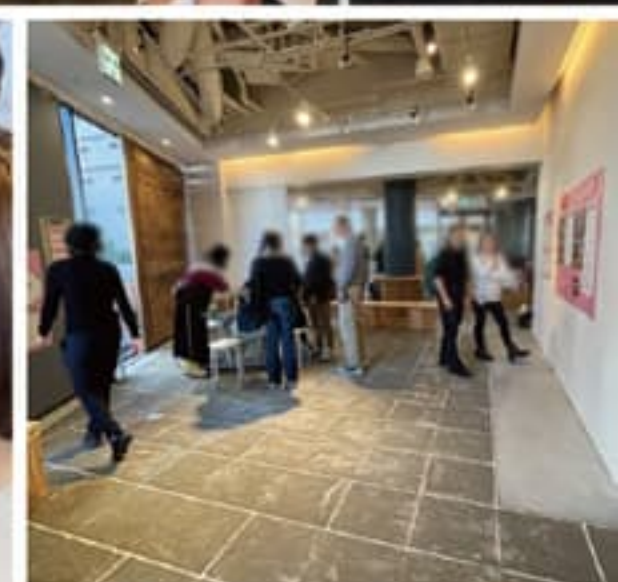
X



Instagram

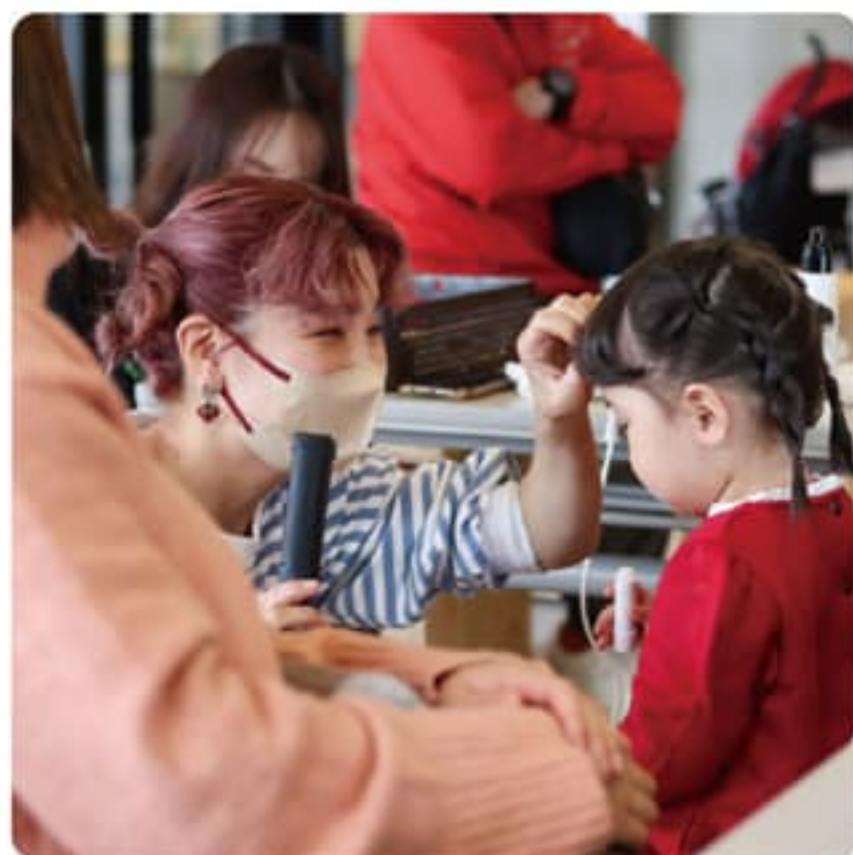


Facebook



写真：安藤真理子（一部除く）

子どもヘアサロン



写真：安國真理子



イベントのようす

生まれて初めてのヘアカットや、ママとおそろいのヘアアレンジなど、それぞれ子ども向けのヘアサロンを楽しんでいました。パパやママに抱きかかえられながら鏡に向かう子どもたち。時にはハサミを怖がって歯を食いしばる瞬間もありましたが、終わったらどの子どもも満足げでお兄さん、お姉さんの仲間入りをした様な表情を浮かべてくれました。今回施術を担当した美容師の方の中には、小さいお子さんのママもおられて、「子どもたちの笑顔がたくさん見れて良かった」とお話してくださいました。

協力テナント：uno pulir【トータルビューティーサロン】/ NU茶屋町1階・2階

子連れフラワーアレンジメント体験会



写真：安國真理子



イベントのようす

大人も子どももみんなでテーブルを囲んで、クリスマスイメージした赤や緑の草花を生けるワークショップを行いました。パパやママに手伝ってもらったり、周りのお友達とお話しながら、どの子どもも懸命に手を動かしていました。アレンジメントが初めての子どもも多い中、みんながどんどんと生ける様子にインストラクターの方も驚いていました。「ふだん子ども向けのワークショップをやることはあまりないので新鮮だった。また機会があればやってみたい」と、新たな子連れチャレンジに繋がるお声をいただきました。



協力テナント：bois de gui et【フラワーショップ】/ NU茶屋町1階

子連れヨガ体験会



イベントのようす

インストラクターの方がクマのぬいぐるみを子どもに見立てて、子どもと一緒にできるヨガのやり方を教えてくださいました。

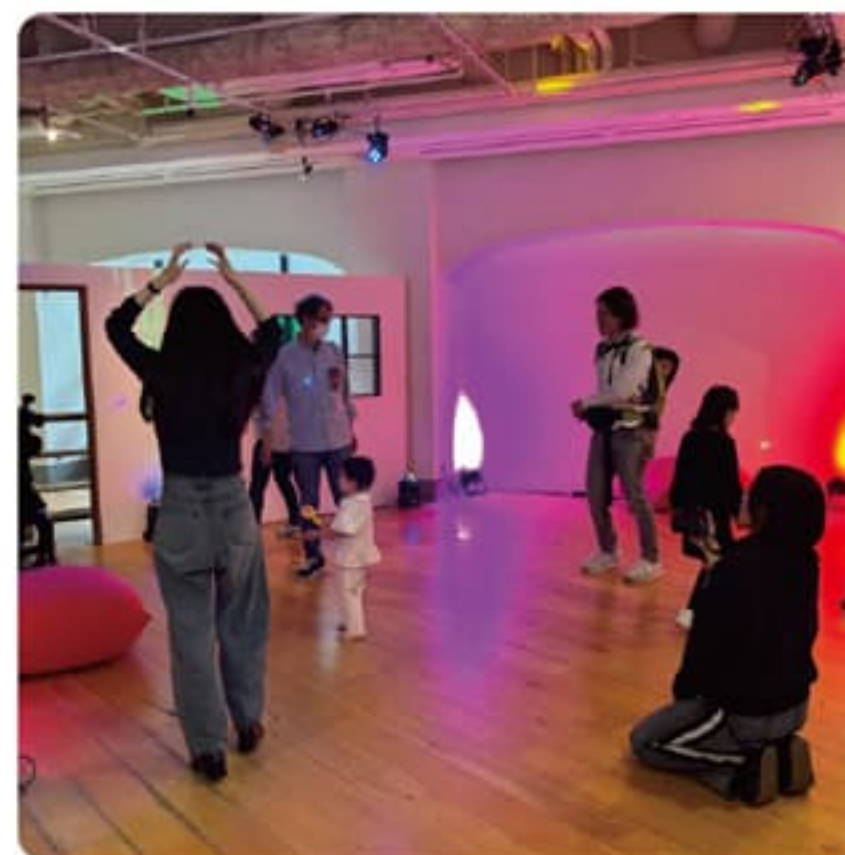
0歳児から5歳児までそれぞれの年齢に応じて、保護者の方が子どもとの関わり方を色々と試しながらヨガのポーズをする様子うかがえました。

体験後はホッと一息。参加したママどうし産後ケアについて会話が生まれたりこのワークショップを通したコミュニケーションの広がりも感じられました。



協力テナント：loive [ヨガスタジオ] / NU茶屋町7階

〈特別企画〉だれでも☆ディスコ



写真：安國真理子



イベントのようす

色とりどりの光線を放つディスコさながらの照明の中、子どもだけでなく、パパやママ、ふらっと立ち寄った大人も一緒になって踊ったり、遊んだりする様子が見られました。“今治から来たDJ”は自身もその場の音楽に身をゆだねながら、最近流行りの子ども向けの音楽から懐かしの名曲まで様々なナンバーを繰り広げ、終始会場を盛り上げてくださいました。終盤には子どもたちが大声で叫んだり、ビーズソファにダイブするなど思いっきりエネルギーを発散させる姿が印象的でした。時折、大人も子どももみんなが輪になって一体感が生まれる瞬間があり、ふだんアクセスしない人との関わりや状況が生まれました。



子連れチャレンジのこえ ～展示・イベントを通して～

出産してから
NU茶屋町に来るのは初めてでした。

ヨガに子連れで参加しました。
到着までなかなかスムーズに進まず、
遅れての参加でしたが
どうしても行きたかったのです。
子供と2人でいると
深呼吸の大事さを感じます。
アクセスのしづさは感じますが、
行きたい気持ちが原動力となりました。

子連れで駅前のデパートは行くけど
駅近辺からは一歩出にくいイメージでした。
NU茶屋町まで来れば、イベント会場は
広々として動きやすかったです。

飲食店やキッズスペースではなく、
子連れで何かしないといけないわけではない
場所っていいな、必要だなと思いました。



【展示について】

4F STAND PARKでは
「プレ子連れチャレンジ(p3,4)」と
「子連れLINEトーク(上部画像)」を展示しました。

＜ NU 茶屋町子連れチャレンジ ＞

おつかれさま
久しぶりに NU 茶屋町に行ってみてどうだった？楽しめた？

おつかれ！
用事で外出に来ることはあっても NU 茶屋町に
子どもと来ることがなかったから、新鮮やったよ。

そうなんや、何年ぶりなん？

4年ぶりかも..
子どもと一緒にお店に入ると気を遣うこともあるけど、
店員さんの対応が良かったから楽しく過ごせたわあ。

それならよかった。
周りのお客さんや店員さんの目が気になることもあるもんね。

そーやなあ..
あと、ベビーカーやエレベーターがどこにあるか
探したりするけど、NU 茶屋町は分かりやすかったで。

エレベーターがないところも結構あるもんね。
子どもを遊ばせたり、休憩する場所もあると
行きやすかったりするよねー。

ほかの人らは、どう思ってるんやろー？

特にディスコでは思ったよりも子供が楽しんでいました。
子どものふだん見ない一面を見ることができました。

じぶんで
つくったものが
もってかえられるのが
うれしい

普段体験できない
ような企画が
いっぱいとても
興味深かったです。

斬新な試みで
面白いと
思いました。

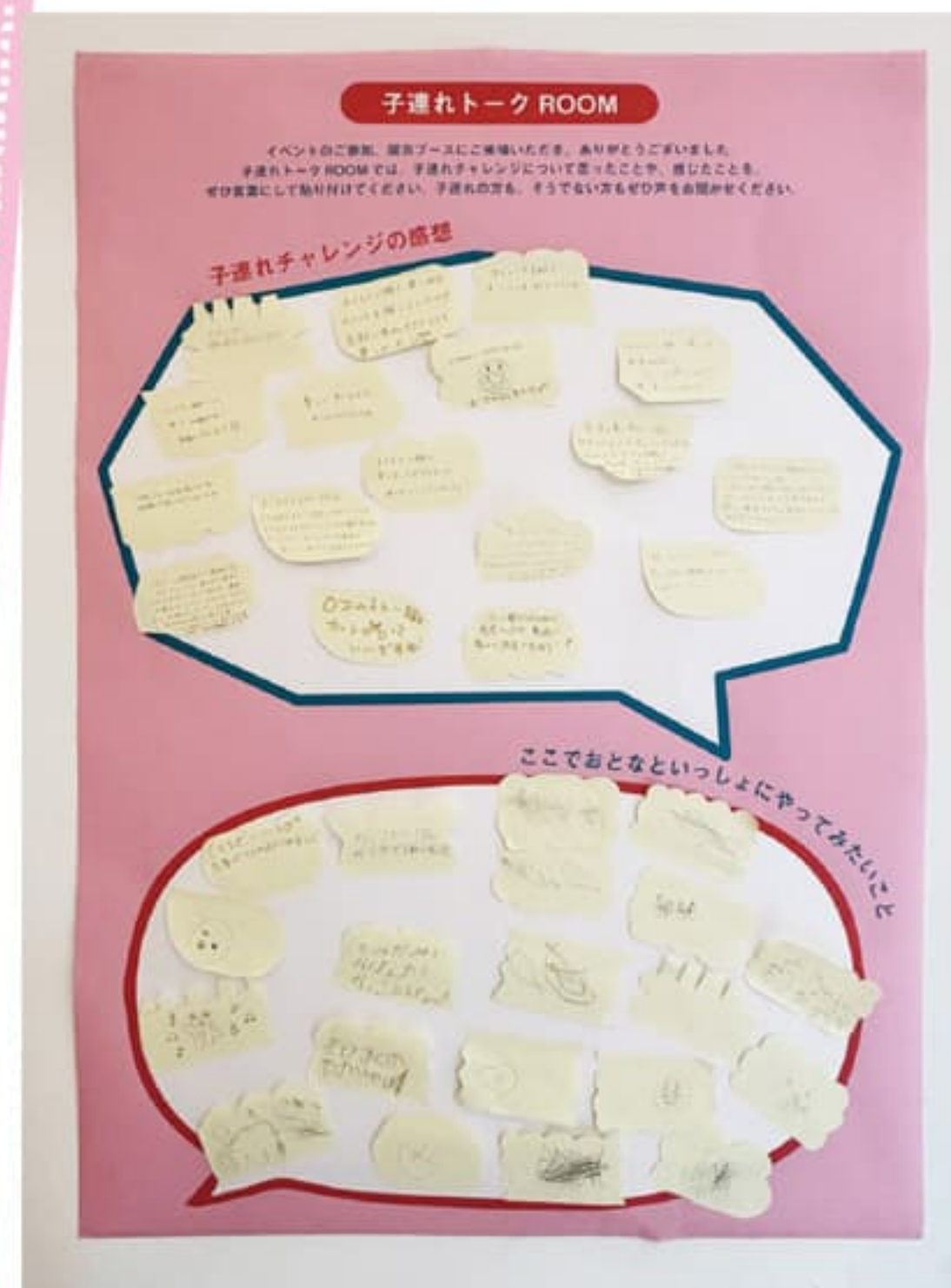
カッコいい
花ができて
うれしかった

赤ちゃんのママの
おひざの上での
カットが羨ましかったです。
私の頃は母に預けて
切りに行っていたので。

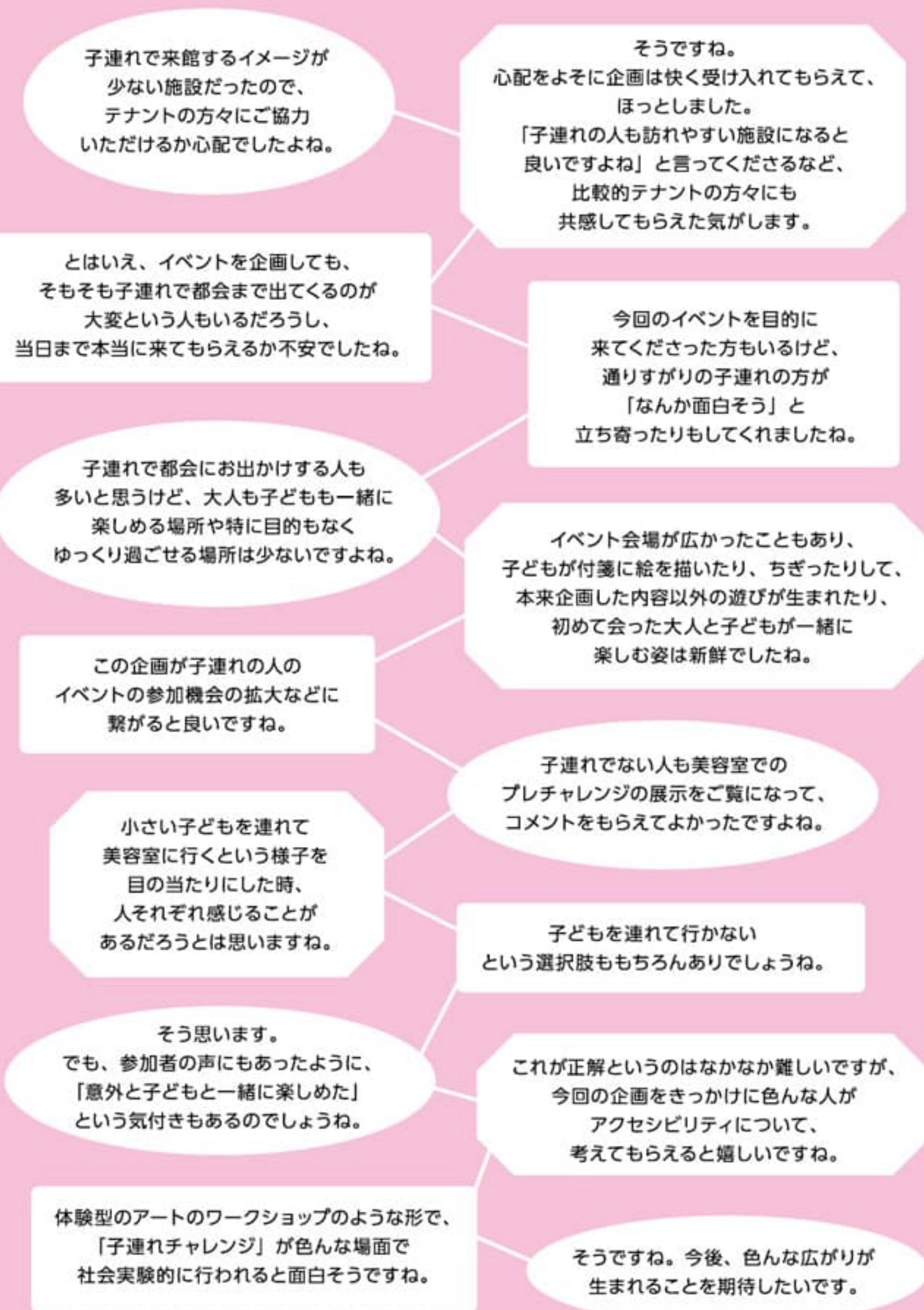
ヘアアレンジは子ども以上に
妻が楽しそうで良かったです！

きょくきくの
たのしかった

我が子がみずから場にいる大人と
関わっていて良かったです。
親子でヨガができて新鮮でした。



子連れチャレンジを終えて ～制作メンバーのアフタートーク～



おわりに

子連れで利用するイメージの少ない都会の商業施設を、あえて子連れで楽しみ尽くしてみようという「子連れチャレンジ」。

今後、このような取り組みが日ごろから子連れの人もそうでない人もアクセスしやすい施設やテナントづくり、まちづくりなどの一助になることを切に願います。

本冊子が商業施設に限らず、色んな方が色んな場面で「子連れチャレンジ」をする際の参考になれば幸いです。

中之島に聴を放つⅡ受講生「子連れでNU茶屋町に行ってみた!」制作メンバー一同

謝辞

子連れチャレンジの実施および本冊子の作成にあたり、多大なご協力を賜りました下記の関係者・関係機関の皆様に深く感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

阪急阪神不動産株式会社 阪急阪神ビルマネジメント株式会社
CULTURE CLUB 株式会社 株式会社Yogibo
uno pulir スタッフの皆様 bois de gui et スタッフの皆様 loive スタッフの皆様
久保田テツ 東海林慎太郎 木坂葵 小川美陽 檜皮一彦 山崎達哉 鄭実香
(今治から来たDJ)

子連れチャレンジのきろく ～都会の商業施設へのアクセシビリティを考える～

2024年1月31日 初版第1刷発行

文 責 | 曾我航 (表紙, p1, 2, 5~14)、辻麻依加 (p3, 4)
編 集 | 近江由紀子、小野毅、曾我航、辻麻依加、八木梓
ビジュアルデザイン | 城山恵美
冊子デザイン | 後藤芳彦
写真 | 安國真理子 (表紙, 裏表紙, p1, [6]~8, 10)
発行元 | 大阪大学中之島芸術センター
〒530-0005 大阪市北区中之島4丁目3-53
大阪大学中之島センター3階「アートスクエア」内
HP: www.art.osaka-u.ac.jp

本書を無断で複写・複製・転載することを禁じます。